

# 日刊建設新聞

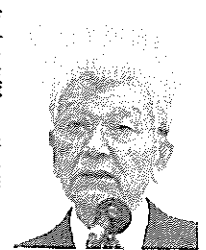
The Nikkan Kensetsu Shimbun

日建工業(仙台市青葉区、大泉徹代表取締役社長)は7日、仙台市の秋保森林スポーツ公園体育館で、安全大会を開催した。人命尊重の理念のもと「予定外作業、省略行動の根絶」を取り組みの柱に、社員・協力会社の技術者らがゼロ災を実現する安全衛生目標の達成と対策の順守を誓った。160人が参加した。

大泉社長は「地域建設業が経営を継続するための事業量確保と処遇の改善に、受発注者・協力会社一丸で恵智を出し合い、令和の大改革に取り組む必要がある。安全は会社経営の基盤であることを忘れることなく、建設業のプロ集団として一人一人がゼロ災を目指すことを願う」と述べ、士気を高めた。

安全大会では、前年度の活動報告と17の現場で実施した安全パトロールの評価・是正の結果報告、「予定外作業、省略行動の根絶」の基本

## ゼロ災害の実現誓う 日建工業が安全大会



大泉社長

方針に基づく安全衛生目標とその対策、実現に向けた安全衛生活動計画の発表、安全宣言を行い、建設業労働災害防止協会宮城支部の齋藤俊一専務理事が安全講話を行った。

同社の安全パトロールは加盟する業界団体のほか、事業主が年2回、役員が年6〜7回、協力会社・同社直営班、安全推進課でそれぞれ毎月1回実施する。その結果、前年度17の現場で実施したパトロールは、評価

された項目の割合が9割を超えた。  
取締役の伝野得男業務本部長は「現場での緊張感を維持するため、年間を通じて切れ目なく実施している。その結果、安全レベルは向上した。継続したい」と話した。



160人がゼロ災害実現を誓った